

健康づくり
 糖尿病は、食事や生活に気をつけ十分な自己管理をすることで予防ができます。
 町市内在住の成人健康診査等で「糖尿病」「血糖値が高い」等の指摘を受けたことがある方は、1月18日(火)午前9時50分～正午、健康福祉会館 保健師・栄養士の講話、試食 定15人(申し込み順) 申電話で町田市コールセンター ☎724・5656へ。

健康づくり
 1月のBCG予防接種 健康課 ☎725・5422 FAX725・5198

期日	会場	受付時間	対象	持ち物
7日(金)	木曽山崎センター	午前10時～11時30分	3か月以上6か月未満の子ども	母子手帳 予診票
13日(木)	なるせ駅前市民センター			
20日(木)	健康福祉会館	午前10時～11時30分 午後1時30分～3時		

健康づくり
 健康寿命をのびよう！
 健康課 ☎725・5422 FAX725・5198

健康案内
 予防接種
 健康課 ☎725・5198

1月の母子健康案内 お気軽にご相談下さい

健康課 ☎725・5422 FAX725・5198

事業名	会場	開催日	時間	対象	内容
もうすぐママ・パパのためのふれびよクラス(母親学級) -4日間コース- (申し込み制)	健康福祉会館	7日(金)	午後1時30分～4時	16～27週の妊婦	1日目 快適なマタニティライフのために
		14日(金)			2日目 妊娠中の日常生活と保育、妊婦体操(実習)
		21日(金)			3日目 歯の衛生、生活と栄養
		29日(土)			4日目 もく浴法(実習)、グループワーク
離乳食講習会(申し込み制) ※後期の申し込みのみ電話で町田市コールセンター ☎724・5656へ。	健康福祉会館	初期 17日(月) または 31日(月)	午前9時55分～11時45分 受付 午前9時30分から	4～5か月児	離乳食の進め方のお話と試食
		後期 21日(金)			8～9か月児
乳幼児・母性相談 ※母子手帳をお持ちのうえ、直接会場へおいで下さい。	健康福祉会館	17, 24, 31日(月)	受付 午前9時45分～11時30分 午後1時30分～3時	2か月～就学前の子どもとその保護者	身長・体重測定 保育相談 栄養相談 歯科相談 母親の身体の相談
	子どもセンターばあん	14日(金)			
	鶴川分館	6日(木)			
	リサイクル文化センター	19日(水)			
	小山市民センター	12日(水)			

健康案内
 講演会
 赤ちゃんの病気に対峙
 赤ちゃんの病気が突然おとずれます。小児科医師が赤ちゃんのかかりやすい病や症状と、その対応についてお話しします。
 2か月～1歳未満の乳児の保護者
 健康課 ☎725・5422 FAX725・5198

健康案内
 1月25日(火) 午後2時～3時15分
 健康福祉会館4階
 50人(申し込み順)
 講師 村野小児科アレルギー科 院長・村野浩太郎氏
 申 12月22日正午から電話で町田市コールセンター ☎724・5656へ。
 ※保育はありません。
 健康課 ☎725・5422 FAX725・5198

概要説明会
 20年間期間限定認可保育所(新築型)
 市では、待機児童解消の取り組みとして、「20年間期間限定認可保育所(新築型)」の公募をしています。

ご案内
 希望職種(①または②)を書き、履歴書(自筆で、写真を張り志望動機を明記)を直接または郵送で、1月18日まで(必着)に保健給食課(〒194-0022、森野1-33-10、☎724・2177 FAX724・1159)へ。

給食調理員(嘱託)
 職種 ①一般嘱託 約15人 ②短時間嘱託 約8人
 資格 長時間の立ち仕事に耐えられる方(集団給食作業経験者歓迎)
 勤務日時 4月～2012年3月の①午前8時15分～午後4時45分 ②午前8時15分～午後0時15分
 勤務場所 市立小学校
 選考方法 書類審査、面接(書類審査合格者のみ)
 ※最終合格者は採用候補者名簿に登載されます。名簿の有効期限は、原則5月31日までです。採用候補者は、欠員状況により順次採用されます。
 希望職種(①または②)を書き、履歴書(自筆で、写真を張り志望動機を明記)を直接または郵送で、1月18日まで(必着)に保健給食課(〒194-0022、森野1-33-10、☎724・2177 FAX724・1159)へ。

お知らせ
 公開している会議 傍聴のご案内

会議名	日時	会場	定員	申し込み
第5期町田市福祉のまちづくり推進協議会第3回心と情報のバリアフリー部会	1月7日(金) 午後2時～4時	森野分庁舎2階第三会議室	5人(申し込み順)	事前に電話またはFAXで福祉総務課(☎724・2133 FAX724・1187)へ。
第5期町田市福祉のまちづくり推進協議会第7回バリアフリー部会	1月11日(火) 午後2時～4時	森野分庁舎2階第二・三会議室	5人(申し込み順)	事前に電話で都市計画課(☎709・0614)へ。FAXでのお問い合わせは☎709・0598へ。

概要説明会
 20年間期間限定認可保育所(新築型)
 市では、待機児童解消の取り組みとして、「20年間期間限定認可保育所(新築型)」の公募をしています。

ご案内
 希望職種(①または②)を書き、履歴書(自筆で、写真を張り志望動機を明記)を直接または郵送で、1月18日まで(必着)に保健給食課(〒194-0022、森野1-33-10、☎724・2177 FAX724・1159)へ。

給食調理員(嘱託)
 職種 ①一般嘱託 約15人 ②短時間嘱託 約8人
 資格 長時間の立ち仕事に耐えられる方(集団給食作業経験者歓迎)
 勤務日時 4月～2012年3月の①午前8時15分～午後4時45分 ②午前8時15分～午後0時15分
 勤務場所 市立小学校
 選考方法 書類審査、面接(書類審査合格者のみ)
 ※最終合格者は採用候補者名簿に登載されます。名簿の有効期限は、原則5月31日までです。採用候補者は、欠員状況により順次採用されます。
 希望職種(①または②)を書き、履歴書(自筆で、写真を張り志望動機を明記)を直接または郵送で、1月18日まで(必着)に保健給食課(〒194-0022、森野1-33-10、☎724・2177 FAX724・1159)へ。

お知らせ
 公開している会議 傍聴のご案内

会議名	日時	会場	定員	申し込み
第5期町田市福祉のまちづくり推進協議会第3回心と情報のバリアフリー部会	1月7日(金) 午後2時～4時	森野分庁舎2階第三会議室	5人(申し込み順)	事前に電話またはFAXで福祉総務課(☎724・2133 FAX724・1187)へ。
第5期町田市福祉のまちづくり推進協議会第7回バリアフリー部会	1月11日(火) 午後2時～4時	森野分庁舎2階第二・三会議室	5人(申し込み順)	事前に電話で都市計画課(☎709・0614)へ。FAXでのお問い合わせは☎709・0598へ。

パブリックコメント 概要
 町田市廃棄物減量等推進審議会事務局(環境総務課) ☎797・7112 FAX797・5374

町田市廃棄物減量等推進審議会では、町田市の今後10年間のごみの処理や資源化のあり方について昨年から審議を重ねてきましたが、今回、市長に中間答申をしました。

ご意見の提出方法について
 募集期間 1月20日(木)まで

資料の閲覧及び配布
 中間答申の詳細は、町田市ホームページに掲載するほか、以下の窓口で閲覧及び概要版の配布を行っています。
 ・環境総務課(町田リサイクル文化センター2階)、市民相談室(本庁舎1階)、市政情報やまびこ(中町分庁舎1階)、市民協働推進課(町田市民フォーラム3階)、各市民センター、町田・南町田の各駅前連絡所、木曽山崎・玉川学園文化の各センター、各市立図書館、町田市民文学館
 ※各窓口で開所日・時間が異なります。ご注意ください。

提出方法
 ①郵送 配布資料に添付されている専用封筒(料金受取人払郵便)を利用するか、環境総務課(〒194-0202、下小山田町3160)へ
 ②ファクシミリ FAX 797・5374
 ③Eメール mcity640@city.machida.tokyo.jp
 ④窓口への提出 環境総務課(町田リサイクル文化センター2階)ほか、上記資料配布窓口へ

注意事項
 ・書式は自由ですが、住所・氏名・連絡先・件名を明記して下さい。
 ・電話、窓口での口頭によるご意見は、お受けできません。
 ・ご意見への個別回答は行いません。
 ・公序良俗に反するもの、特定の団体・個人等に対する誹謗中傷が含まれるものは無効とします。
 ・寄せられたご意見の概要及び市の考え方は、個人情報を除き、3月下旬に公表します。

町田市一般廃棄物資源化基本計画中間答申概要

基本理念
 町田市40万市民は、地域や地球の環境を守るために、「ごみになるものを作らない・燃やさない・埋め立てない」を原則として、徹底したごみ減量、資源化を図りつつ持続可能で環境負荷の少ない都市を目指します。

全体目標
 計画の最終年度である2020年度までの数値目標を2009年度の値を基準値として定めます。また、ごみとして処理する量を40%削減します。

基本方針
 ①家庭から出る生ごみの100%の資源化を推進します。
 ②プラスチックごみの減量・資源化を推進します。
 ③市民、事業者、行政の協働を進めます。
 ④次世代型のリサイクル施設を整備し、ごみ処理の円滑な運営を進めます。
 ⑤ごみの発生抑制と排出抑制の取り組みを進めます。

目標達成までの流れ

資源化量	発生抑制 排出抑制
基準年 ごみ量 9万9000トン	基準年比 90% 9万トン
2009年度 (基準年)	2015年度 (中間年)
	基準年比 60% 6万トン
	2020年度 (目標年)

発生抑制
排出抑制
資源化(生ごみ・プラスチックの新規資源化等)
適正処理